

平成 27 年度 第 1 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録 (平成 27 年 4 月 26 日)

出席者：秋山,三井,梶原,稲葉,岩井,大庭,岡田,岡庭,勝又,齊藤,建木,村岡 (途中退室),小林 (理事：13 名)
谷川 (監事 2 名)、大石 (学会長) [高岡,小坂,辻,杉山,武内 (書記)]

場 所：静岡県産業経済会館 (静岡) 13:00~16:15

※【平成 27 年度 第 1 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 第 29 回静岡県作業療法学会 進捗 (稲葉理事)

- ・開催日：平成 28 年 5 月 28 日 (土)・29 日 (日)
- ・会場：コンgresセンター (レセプション：クラウンパレス)
- ・学会テーマ：「魂の輝き・意味のある作業から意味のある人生へ」
- ・実行委員 学会長：山田英徳氏 (常葉大学)
実行委員長：稲葉洋介氏 (静岡医療科学専門学校)
事務局長：村岡健史氏 (常葉大学)
運営部長：秋山尚也氏 (浜松市リハビリテーション病院)
学術部長：鈴木達也氏 (聖隷クリストファー大学)
- ・学会プログラム案
5 月 28 日 (土) 開会式
演題発表を増やす案で検討中 (28 回学会にてアナウンス)
- ・演題募集方法 検討中：今年の県学会前後に演題募集開始予定
- ・学会ロゴ・名刺 検討中：今年の県学会までには完成予定
- ・運営マニュアル案 作成中
- ・学会誌：1ヶ月前には会員へ発送予定

2. 第 28 回静岡県作業療法学会 進捗 (大石学会長)

1) 報告事項

①学術局：演者・座長への案内文作成し郵送予定。学会誌の発送作業 4 月 25 日に実施。
印刷会社へのデータ保存について、個人情報取り扱いの同意書に中澤氏で対応。

②事務局：

- ・運用資金 (詳細は資料参照)
現在の支出 562,383 円 (残金 840,000 円)
今後学会までの予想支出 1,130,000 円 (学会誌の支払い、テルサ会場費)
学会誌支払いを学会後でも可能か確認。学会規模 420~500 人参加で採算が取れる予想
- ・広報
ポスター：160 箇所へ郵送済み
公開講座の一般向け広報：フリーペーパー、ラジオ放送
- ・申し込み：60 名の事前登録

③運営局：マニュアル作成中、当日スタッフ募集中

懇親会会場の設営時間について、会場側の不備があり現在打診し返答待ち。

3. 平成 27 年度県士会総会 進捗 (三井副会長)

1) 総会の流れについて

- ・10:50~総会開始 第 3 号議案役員選挙より行う (委員長からの説明後投票→投票箱を回し回収)
第 1・2・3 号議案の順番で 27 年度計画・予算案時に開票作業は困難か。
⇒今回はこの流れで行い、平成 27 年度事業計画と予算案は議決を取らないことで承認
- ・選挙結果報告後、旧理事・新理事の挨拶を行う

2) 総会までの準備：随時進める

4. 県士会会計の報告 (小林事務局長)：総会議案集の第 2 号議案、報告事項の予算案を確認

- ・決算報告の印象としては、各部備品少なく支出を抑えた傾向がある、数年分の会費をまとめて納入した会員がおり収入が増えている。
⇒ 予算額に対して実質の収入が増えている
- ・予算については、昨年度より増額となったが、必要な予算を検討した結果ということで承認
⇒ 各部儉約すること

5. 県士会役員選挙について（小林事務局長）

- ・役員選挙及び総会の招集通知と委任状・議決権行使書、投票用紙についての確認
⇒ 委任状・議決権行使書と投票用紙の一部修正
- ・選挙方法については前頁参照

【各部報告】

1. 財務部（岡田理事）：特になし

2. 学術部（三井副会長）

- ・MTDLP について情報を配信中。通所リハの生活行為リハ加算の算定要件について、基礎研修修了していれば、事例登録していなくても修了証を交付し算定要件を満たすこととなる。ただし、平成 28 年 3 月 31 日までに実践者研修を修了する必要がある、実践者研修は生涯教育制度や県士会の研修会で事例登録を行うこととなっている（三井）

○県士会の MTDLP に対するスタンス

OT 協会の一つの武器として事業展開している。県士会は一つのツールとして会員それぞれが必要あれば研修を取り入れ理解していくがそれが全てではない。しかしながら、協会の動きを考慮しながら県士会として MTDLP を推進し、研修会を開催し理解を深める姿勢を取っていく（秋山・梶原）

3. 教育部（村岡理事）：特になし

4. 広報部（稲葉理事）

- 1) 広報誌 : 117 号 5 月 25 日に発送予定

5. 渉外部（秋山会長）

- 1) 渉外関連の会議、式典の出席
- 2) 今後の予定

- ・5 月 30 日：OT 協会社員総会
- ・5 月 31 日：47 都道府県委員会（PM 都道府県連絡協議会開催予定：秋山会長代理出席）
- ・5 月 31 日：PT 県学会来賓（三井副会長）
- ・6 月 11 日：広域支援センターとリハ職能団体、市町との検討会 県庁にて（梶原副会長）
継続事業として予算がつく。広域支援センターは規模が大きく地区毎になっていない。
5 月 22 日 PT 県士会事務局で 3 士会の意見集約会
- ・7 月 25 日・26 日：OT 協会合同役職者研修会、47 都道府県委員会（次回理事会で人選）

3) 報告事項

- ①47 都道府県委員会（4/12）
- ②3 士会合同士会会長会議
- ③平成 27 年度在宅医療出前講座の依頼（静岡市：介護予防教室講師）
地区社協運営の S 型サービス会場に向いて、少人数制の講話もしくは実技指導
3 士会分担で実施予定（PT 士会に振り分けを依頼中）

6. 福利部（齊藤理事）

- ・各部局への福利厚生費について検討

7. 事業部（建木理事）：5 月に一般者施設見学 1 名あり。見学場所は市立御前崎総合病院。

8. 調査部（大庭理事）

4 月に会員管理システムを事務局にて拝見。統計が出せないトラブルあり、解決後アンケート提出

9. 制度対策部（梶原副会長）

- ・MTDLP に関する問い合わせが多い。学術部が基礎研修履修者リストを OT 協会に提出し確認中。
修了証が来るまでは明確なことは言えず、修了証をもってして算定が可能ということで対応中。

10. 地域活動推進部

東部（岩井理事）

- ・選挙後、部長体制を検討（統括部長：加納氏、中・西部：部長）
- ・派遣依頼等、各地区代表者への依頼の流れをマニュアル化していきたい
- ・懇親会：今年度は東部（4 地区）、中部、西部にて開催。来年度から圏域等で行いたい

中部（勝又理事）：6 月 13 日（土）事例検討・事例報告後に新人歓迎会

西部（稲葉理事）：5 月 29 日（金）OT 交流会・新人歓迎会

11. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）：特になし

12. 災害対策委員会（村岡理事）：特になし

13. 法人化推進委員会（勝又理事）

- ・財務に関する申請書正味財産計算書を基に作成中
- ・事業計画は昨年度を基に書き足している。今後確認をしていく。

14. 表彰委員会（小坂氏）

- ・他機関からの表彰者推薦依頼 → 候補者なしで返信
- ・平成 27 年度 OT 協会表彰候補者推薦 → 3 名の推薦状送付したが落選
- ・平成 27 年度県士会表彰計画
遠藤浩之氏、新宮尚人氏、山田英徳氏 3 名に第 28 回県学会レセプション内で表彰を行う予定。

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会（齊藤理事）

- ・第 6 回訪問リハビリテーション地域リーダー会議への委員派遣について
→ ピリ睦氏（ケアル訪問リハビリ看護ステーション）に決定（本人了承済み）
- ・新規委員について → 辻本真由子氏（湖山リハビリテーション病院）に決定

16. 事務局（小林事務局長）

1) 報告事項

①後援依頼等、県士会への依頼について

- ・静岡県健康福祉推進ネットワーク委員⇒小林 晃子事務局長
- ・静岡市健康福祉審議会専門分科会専門委員⇒小林 晃子事務局長
- ・医療・介護のリハビリテーションサービスの利用履歴に応じた自立支援に関するこれからの通所サービスの在り方に関する調査研究事業報告書⇒PT協会より

②案内・お知らせ等について

- ・都道府県士会ニュース（随時）→（茨城、愛知、長野、京都、福岡、兵庫）・
- ・他団体ニュース・広報誌（随時）→（看護協会、日本 ALS 協会、日本浮腫療法協会 他）

③会費納入状況

平成 26 年度会費納入者 1237 名 コンビニ払い 1048 名 郵便振込み 189 名

未納者 53 名（3 月 31 日時点）

納入者数、会員の約 96% （3 月 31 日時点での会員数 1290 名）

平成 25 年度分会費未納入者 6 名

④平成 27 年度会費納入状況

コンビニより支払済 651 名（4/21 時点）

4 月 24 日 会員証明シール 660 名分 発行・発送開始 今後は、入金確認次第発送

2) 確認依頼事項

①平成 27 年度退会者について（別紙参照）

- ②日本作業療法士協会と静岡県作業療法士会との関係に関する協定書について（別紙資料）
⇒ 承認。協定を取り決める。

③総会議案集同封資料について（別紙参照）前頁参照

17. その他：

【次回】

第 2 回理事会日程：平成 27 年 6 月 13 日（土）